



昭和62年10月31日

がんば

島田市立第三小学校
育友会報
発行部
広報部

【第93号】

天高く 運動会



組体操担当

三丸和明先生

運動会・市民体育祭での子ども達の真剣な姿、御父兄の方々には、いかが写られたでしょうか。五・六年男子百四十余名、個々に自分の力を出しきり演技できたのではないかと思います。子ども達の間からも……

「今日は、落ちんやった。上手やったろ？よかつたろ？」と言う声が、自然と聞こえてきたようです。指導した私達も、少しひいき目かもしれませんが、「よく頑張ったぞ！」と胸の内が熱くなるものがありました。と言いますのも、雨上がりの児童公園での泥まみれの練習、ごっこした石が顔を見せる運動場でのピラミッド崩し、友達のあるいは、自分の体重を支えきれず地面に何度も叩き付けられた姿等、子ども達にとって苦しかったに違いない練習の様子がいかに思ひ出されたからです。何度、先生方のきびしい声が飛びかっただかもわかりません。さて、本年も、五・六年男

子の団体演技として、ここ数年連続してきた「組体操」に取り組む事になったわけですが、テーマを何にするか非常に悩みました。ああでもない、こうでもないと考えた挙げ句、「力をあわせて」と言うことにしました。それは、一つの物を作り上げる時の皆の協力、助け合いの大事さ、又、成功させた時の満足感を子ども達に身を持って感じて欲しいと思ったからです。体力的に優れた子、そうでない子、粘り強い子、すぐあきらめてしまう子、自分一人ぐらいは、誰かがやってくれるだろうと考える子等、子ども達は様々です。しかし、組体操を立派に演技する為には、我がままは許されません。皆で助け合い、心が一つに成らなければうまくいきません。

約二週間余りの練習でしたが、本番での成功で「力をあわせて」の意味を子ども達が身を持って感じてくれたなら、今後の生活の中でも何か得るものがあるのではないかと思います。つつ、これからの三小の子ども達の活躍を期待しています。

ク ラ ブ 紹 介

クラブ活動に打ち込む子ども達の姿。瞳が生き生きと輝いています。

工 作 ク ラ ブ

- ① 担当者 本田 堯先生
- ② 部長名 上田 哲明
- ③ 人数 十九名

④ 活動内容
身のまわりの素材や板などを使って平面や立体を製作。子どもたちが作っているものは、動くおもちゃ・木彫・バスル・ビートゲーム等。



⑤ 将来の左甚五郎・西望翁をめざして、完成の喜びを味わうべく、糸のこ・ナイフ等を使って苦闘しています。

人 形 劇 ク ラ ブ

- ① 担当者 菅 恵子先生
- ② 部長 村上 祐子
- ③ 人数 十七名



- ④ 活動内容
四年……五名
五年……十名
六年……二名

指人形、かげ絵、ペープサート、紙芝居などを作って劇化しています。
⑤ 今、かげ絵劇に挑戦しています。もの静かな中、どの子も意欲満々で、でき上がりを楽しみにしています。

格 技 ク ラ ブ

- ① 担当者 米水 利一先生
- ② 部長 本田 龍也
- ③ 人数……十三名

- 四年……三名
- 五年……五名
- 六年……五名

④ 活動内容
鉄棒・水泳・マラソン
すもう・柔道



⑤ 一つのスポーツにこだわらず色々なスポーツを体験させ体力の増進をはかりたい

体 操 ク ラ ブ

- ① 担当者 河野 借子先生
- ② 部長 諸田 善子
- ③ 人数 十一名

④ 活動内容

主にマット運動・平均台運動をやっています。
時にはリボンや輪などの新体操のまねごとなどをやっているのですが、ステージの上の狭い所でやっていますので、思うように動けないのが残念です。
子供達は「タッチ」のみなみちゃんをめざし、担当の私はスリムな体をめざしてがんばっています。



科 学 ク ラ ブ

- ① 担当者 林田 尚三先生
- ② 部長 平野 義二
- ③ 人数 二十四名

④ 活動内容

- ・ 電磁石とベル
- ・ かえるの解剖
- ・ むしパンづくり
- ・ 熱気球
- ・ ビンホールカメラ
- ・ カルメラをつくろう
- ・ 溶液の性質

⑤ 科学が好きな子どもたちどこまで追求できるか、自分の目でたしかめながら科学の目を養っていきます。



ハンガリーを訪れて

林田尚三

九月二十一日(月)、あわただしく視察旅行へ出発しましたが、七月の事前研修会で、視察団員三十五名と十分なふれ合いがあったため不安はありませんでした。二十一日午後九時四十二分、英国航空〇〇七便、(アンカレッジ経由北まわり)にて出発をしました。離陸と同時に、闇の中へすいこまれて行きます。全員ほっとした様子。しかし、ジェット機の爆音で容易に眠ることができません。

機内食を食べ、三時間程うつらうつらしたでしょうか、東の方角雲海のかなたがしらみ出します。日本はまだ午前三時だというのにもう朝です。現地時間午前十時、給油をすませ、正午再びアンカレッジを離陸します。北極海の氷が雲間に見え、極点に近いことを教えられます。

そうこうしている内に時間が進み、夜がまたたくまにやってきました。窓から東の空にオリオン座を見ることができず。夕食をすませ睡眠をとりますが、なかなか寝つけません。

アンカレッジを飛び立って八時間十分、下に灯が見え出しました。イギリスです。まるで宝石を散りばめたような(トバース石)ながめです。「いよいよロンドンだ」という期待と不安の中で、機内の団員は降りる準備をはじめました。

午前六時、朝、ロンドン郊外のスロウ空港に降り立ちました。天気快晴、気温一度の朝です。

最初の訪問国はハンガリーです。ヒースロー空港よりハンガリー航空に乗りかえ、ブダペストへ。ブダペストはハンガリーの首都ですが、一見日本の地方空港といった感じです。人も車もまばらです。売店も少なく閑散としています。ブダペスト市内の商店街には、看板は見当りません。窓から中をのぞいて、初めてここは店なんだと思うくらいです。

社会主義国の人々の生活の中は贅沢なくらしはなく、質素なくらしであることを感じました。工場で大量生産された物ではなく、手製の伝統工

芸品を多数見ることができました。自動車は、ほとんどがソ連の中古車でした。オーストリアの国境に近いソポトへイへ行く高速道路の両側には、広々としたひまわり畑、トウモロコシ畑が、はるか地平線のかなたまで続いています。高い山らしいものは見えません。なだらかな耕作地がつつき、スイート心がなごむようです。田園風景の中に、おとぎ話にてくるような小さな教会と、それをとりまく木立ちのある家が、かわいらしく見えます。

ハンガリーは物価が安い。日本のアイスクリーム(一〇〇円)が、十八円程で食べられます。文房具店に入ると、品物の種類が少ないのにおどろきました。これだけあれば日常生活に不自由さはないと思えました。商品が多い日本と比べると、あまりの違いに

おどろきます。「私達はめぐまれすぎている」という感じが出てなりませんでした。

ハンガリーは、前述したように社会主義国です。子ども、老人を除く成人は、みな国营企業へ働きに出ます。ですから、家庭の両親は、一日中不在ということ。そのような社会的事情がありますから、学校教育にも日本と違った面を見ることができず。

小学校(六才十三才)は八年制になっています。子ども達は、午前七時家を出て、午後五時まで学校に残るという生活です。授業は午前中におわり、午後はクラブ活動、明日の勉強・宿題を学校ですませます。午後、家へ帰っても両親は不在ですから、必然的に学校がめんどうを見るという学童保育制になっているのです。

しかし、大半の母親は昔の

ように家に残り、子どもの教育をしようと願っているようですが、働くことを義務づけられている社会的事情から、あきらめもあるとのことでした。

十四才で義務教育を終えると、九十六%が卒業し、残り四%の子どもは、学力低調という理由で卒業がのびるそうです。そうした子どもは、再教育をうけ、卒業のはこびになります。

十四才になると、将来の自分の進路を決定しなくてはなりません。少数の生徒は、国立大学(私立大学はない)をめざして普通高校へ、大多数の生徒は専門学校へ進みます。日本でいう実業高校です。一三五種の職業技術の中から自分の適性・学力にあった職種をえらび、技術資格を得るために勉強にはげむそうです。資格を得さえすれば、必ず就職できるとのことでした。

こうした教育は、国营企業との連携を持って進められていました。

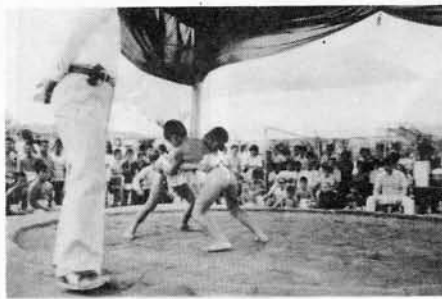
最後に、今回の視察旅行に際しましては、学校の先生方、御父兄の皆様方には、この他御厚情をいただきましたことに感謝申し上げます。報告にかえさせていただきます。



ソフトボール結果



すもも大会結果



	Aパート	Bパート	Cパート	Dパート
1位	西八幡 みなと	南下川尻A 新山西	崩山 浦田元船津	白土桃山2丁目 蛭子町
2位	新山1丁目 霊南	栄町 緑町	白山	坂下・八幡
3位	坂上 下川尻	新山2丁目 浦田上	白土桃山1丁目 南下川尻B	津町・有馬船津 湊町

【団体戦】
一位 西八幡A
二位 坂上A
三位 栄町A

【個人戦】

三年生 二位 松林上 一位 松尾将
 四年生 一位 松林上 二位 松尾将
 五年生 一位 松林上 二位 松尾将
 六年生 一位 松林上 二位 松尾将

第八回親子フットベースボール大会

「お母さん方、大奮闘！」

(62・9・13)

お母さんも
頑張りました

いつも子供には何かと厳しいお母さん方も、この日はかりは立場が逆転。
 お母さん、もう少しボールをしっかりと取ってよとか、もつと一生懸命走ってくれんけんアウトになったヨ等々、子供からお母さん方への注文は厳しいようです。
 子供達が楽しくプレーしているのに、母親の顔は緊張そのもの。
 曇り空を一掃するような歓声は、親子フットベースボールのユニークな一コマでした。



【試合の結果】

Aパート

一位 南下川尻A、坂上
 二位 新山二B
 三位 新山一B
 新山西、白土桃山二

Bパート

一位 新山西、白山
 二位 湊町B、新山一A
 三位 新山二A

Cパート

一位 浦田元船津、みなと
 二位 湊町A、坂下・八幡
 三位 南下川尻B

Dパート

一位 霊南
 二位 緑町、西八幡
 三位 津町・有馬船津A
 津町・有馬船津B
 栄町B

父親参観日

11月27日(金)

午後2:00~午後4:00

お母さんも一緒に
参加しましょう!

がんばるマン コーナー



崩山の監督さん

紹介!

ソフト・小林久晃さん
相撲・満尾 勝さん
「こんばんわ、皆さん。」

訪問した時、夕暮れ6時で、桜井寺の境内に子どもたちが集まって、目が輝いていました。この日は、小林監督さんとは、お会い出来ませんでした。が、一番元氣そうな子が、三年連続バート優勝したよ!と、声はずみ、監督さんの日頃の熱意ある御指導ぶりが想像できます。

相撲の指導にガンバっていらっしゃる満尾勝さんと、やる気満々の、崩山男児たちに焦点を合わせ、ハイ、ポーズ。

さわやかイメージの

西八幡

西田俊一さん

利発な子供の多い西八幡の子供クラブ。

今年、校内ソフトに相撲に優勝くの大活躍。特に、六年生の西田君を中心にした団結力はバツグン。

指導者がいない時でも、子供達自ら積極的に練習する姿は、端で見ててもさわやかそのものです。

西田さんの「キビキビ動け」の一声は、子供一人一人浸透してとても輝いていますヨ。

「ヤッター」優勝を決めた一瞬



写真右端が山下監督、左端が阿比留さん

チームワークは 地域をあげて

熱意溢れる指導者が沢山の坂上町内子供クラブ。今回はソフトチーム、ジャガーズを尋ねました。

昨年までの監督が熱血漢の阿比留さん。その基礎のもと現在指導をされているのが、山下博文さん。数年前まで強豪の軟式野球チームを率いて

いた時とは一味違った指導力。期待しています。

ところで、チームの紅一点色黒い容姿とは対照的に真白い歯、清潔そうな女の子二人の笑顔がこのチームを象徴しているようで余韻が残りました。

